

安心の住環境は、安全な交通環境から。

TRILIGHT POST



GUARD CUBE
SERIES

トライライトポスト®

検知式発光横断支援装置

NETIS 新技術情報提供システム
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

登録No.KT-230166

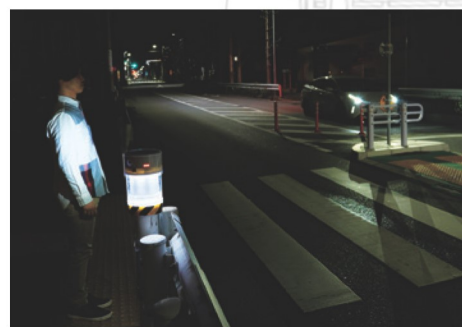


交通
対策

安全
横断

3つの光で横断アピール

近年、警察庁の発表する交通事故死者数は5年連続で過去最少を記録。JAFの実施した現地調査でも、信号機のない横断歩道での車の一時停止率が増加傾向にあるなど、ドライバー個人の運転マナーは年々向上しています。一方で薄暮から夜間にかけての歩行者の存在に気づきづらくなる時間は他の時間帯に比べていまだ事故発生件数は多く、対策が急務となっています。トライライトポストはそうした時間帯でも、ドライバーから歩行者の視認性を高めるためのデバイスです。



POINT

1

光によるアピールで
安全な横断をサポート



3種類の光でドライバーに横断歩道と歩行者の存在を気付かせ、薄暮・夜間でも安全な横断をサポートします。

POINT

2

設置はネジ留めだけでOK
大がかりな工事不要



ガードレールの支柱径に合わせた寸法設計で、支柱にかぶせてネジ留めするだけで簡単に設置が可能です。

POINT

3

日中は充電、夜に起動
太陽光発電で電源要らず



機器上部にソーラーパネルを設置し、LEDで使用する電力は太陽光発電で供給するシステムです。

3種の発光方法で 視覚的にアピール



役割の異なる光がドライバーに注意喚起

トライライトポストには、ドライバーに知らせるための「赤色LED」、歩行者を照らす「白色LED」、ポール自体を照らす「白色LED」の3種類の発光方法が搭載されています。人感センサー（赤外線による人体温度感知）で作動し、水平に照射される赤色LEDで「ドライバーの視線を歩行者に向け」、白色LEDで足元から歩行者を照らしてドライバーからの視認性を高め「ドライバーに歩行者の存在を気づかせる」2段階のアピールを行います。さらにポール自体を照らす「白色LED」は「ここに横断歩道がある」ことをドライバーに認識させます。またポールには交通安全標語やロゴなどを自由に記載することができ、横断者にも「交通ルールの遵守」の意識を根付かせます。

また、機器は横断歩道兩岸の左右、1つの交差点に4個設置します。歩行者を左右から照らすことにより、車がどちらから走行してきても逆光とならないよう配慮をしています。

手軽に、どこでも 設置ができる



被せて留めるだけで手軽に設置完了

機器の内径はガードレール支柱にぴったりおさまる寸法に設定されています。設置場所での取付の際にも、支柱にかぶせて取付金具と機器をネジ留めるだけで完了。ネジも一般的な形状ではなく特殊形状を使用し、持ち去り等を防止します。

規格品の用意だけで即設置可能

周囲にガードレール等が設置されていない横断歩道であっても、現行の規格によるガードレール支柱をご用意いただくだけで設置が可能です。



太陽光発電で 電源準備も不要



昼に蓄え夜に動くシステム

日中に太陽光を受けてソーラーパネルが発電している間は、電力をバッテリーに蓄電。日が沈み発電がストップしてバッテリーへの電力供給が停止すると、自動的にバッテリーからLEDライトに電力が送られるようになる仕組みです。電源が不要で商用電源の所在に関わらず設置できるのも強みとなります。

また、人感センサーは人体の温度を検知し作動するため、交差点内を車が通過しただけではLEDライトも点灯せず、電力の効率的な使用に貢献しています。



日中



夜間



人と技術と感動通信

シーキューブ株式会社

ICT事業グループ プロジェクト推進部

名古屋市西区幅下1-6-7 シーキューブ株式会社 幅下ビル

TEL 052-462-1884

動画による説明、詳しい仕様は
ホームページをご覧ください。

